

令和7年度

旧向保育所解体工事

設計図

有限会社 夏堀アシスト設計

図面リスト	
図面番号	図 面 名
A-01	特記仕様書（その1）
A-02	特記仕様書（その2）
A-03	特記仕様書（その3）
A-04	案内図・配置図・仕上表・建具表
A-05	平面図等
A-06	各音階詳細図（1）
A-07	各音階詳細図（2）
A-08	各音階詳細図（3）
A-09	各音階詳細図（4）
A-10	電気配線図・給排水図

[illegible]

旧向保育所解体工事

取りこわし特記仕様書（電気設備）

I. 工事概要

1. 工事場所
- 取りこわし特記仕様書（建築工事）による。
2. 敷地面積
- 取りこわし特記仕様書（建築工事）による。
3. 工事種目
- 保育所
- 電気設備
- 取りこわし一式

II. 工事仕様

1. 共通仕様

取りこわし特記仕様書（建築工事）による。

2. 特記仕様（●印のものを適用し、○印のものは適用しない）

（1）一般共通事項

- 発生材の種類、処理等は工事補足説明事項による。
- 分析調査
- 有り
- 微量PCB含有調査（）
- アスベスト含有調査（）
-
- 無し（解体共通仕様書による「施工調査」の結果、分析調査の必要が生じた場合は監督職員と協議すること。）

（2）取りこわし内容

- 図示された機器類、配管配線、ケーブルの解体を行う。（地下埋設物、埋設配管を含む）
- 下記の廃棄物等及び機器類は内外装材の解体前に取外し又は回収する。
これ以外の配管配線、機器類はコンクリート及び内外装材と同時に解体してよい。

1）廃棄物等（「施工調査」の結果、●印以外の廃棄物等が確認された場合は監督職員と協議すること。）

再資源化を図るもの

- 小型二次電池
- 蛍光灯及びHIDランプ（水銀リサイクル共）
-

特別管理産業廃棄物

- アスベスト含有材（○）
- PCB含有機器（○蛍光灯安定器○変圧器○）
- 廃油（○）
- 廃アルカリ（○アルカリ蓄電池○）

特殊な建設副産物

- イオン化式感知器
- 六ふっ化硫黄（SF6）ガス（○ガス絶縁開閉器○）

2）機器類

- 受変電盤
- 直流電源装置
- 発電装置
-

旧向保育所解体工事		A-02
とりこわし特記仕様書(2)	一般建築士事務所 青森県 登録 A1 第 1140 号 有限会社 夏 堀 ア シ ス ト 設 計 八戸市根城9丁目4番8号 TEL 71-4671 (代) FAX 71-4672 一般建築士 登録第104903号 夏 堀 典 雄	
設計年月 7年 8月		

旧日向保育所解体工事 特記仕様書（機械設備）

I、工事概要

- 1、工事場所
- 建築工事 特記仕様書による。
- 2、敷地面積
- 建築工事 特記仕様書による。
- 3、建物概要

建物名称	構 造	階 数	延べ面積（㎡）	区 分	備 考
保育所	木造	平屋		取りこわし1棟	

- 4、工事種目
- 保育所 機械設備 取りこわし一式

II、工事仕様

1、共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」（以下「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版」（以下「改修工事標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・環境課監修の「公共建築設備標準図（機械設備工事編）最新版」（以下「標準図」という。）による

2、特記仕様

（1）一般共通事項 （●印のものを適用し、○印のものは適用しない。）

●官公署への手続き等 工事の着手、施工にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な手続き等を遅延なく行う。

- 貯油槽

○ 給水装置

○ 排水設備

○ 都市ガス設備
- 廃止届けとする。

○ 廃止届けとする。

○ 廃止届けとする。

○ 廃止届けとする。
- ボイラー

○ 浄化槽

○ 昇降機
- 廃止届けとする。

○ 廃止届けとする。

○ 廃止届けとする。

○ 廃止届けとする。

○廃酸・廃アルカリ処理 吸収冷凍機、吸収冷水水機等の撤去前に臭化リチウム水溶液の抜き取りを行う。ただし、抜き取り費用は（○本工事 ○別途）とする。

○ダイオキシン類処理 焼却炉等の撤去前に残灰よりサンプリング調査を行い、監督職員に報告する。ただし、サンプリング費用は（○本工事 ○別途）とする。

○廃油処理 オイルタンク、サービスタンク、油配管等は撤去前に内部清掃を行う。ただし、内部清掃、洗浄油の回収費用は（○本工事 ○別途）とする。

○冷媒（フロン類）の回収 冷凍機、パッケージ形空調和機等の撤去に伴う冷媒回収方法は、改修標準仕様書第3編2．4．3により適切に行うこと。

ただし、家電リサイクル対象機器は除く。 冷媒回収の費用は（○本工事 ○別途）とする。

○家電リサイクル 対象機器は、 とする。なお、冷媒回収はポンプダウン方式とする。（リサイクル料金は本工事とする。）

●汚泥・汚水処理 浄化槽及び排水槽内は汚泥・汚水を汲み取り、内部清掃を行う。ただし、汚泥・汚水・清掃洗浄水の回収費は（○本工事 ○別途）とする。

○アスベスト含有製品処理 ○ 本工事

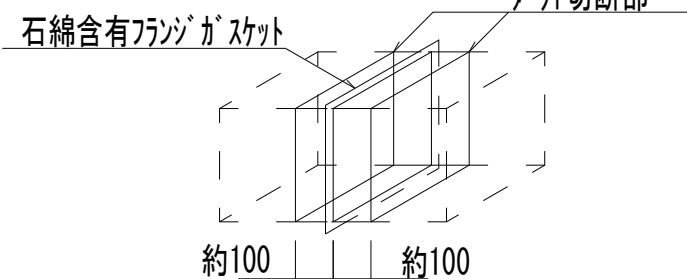
ダクトフランジパッキン及び配管エルボ保温材の処理方法は、以下による。

撤去する長方形ダクトのフランジ部、配管のエルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するため、フランジ・エルボ

チーズの前後を切断し、他のダクト・配管とは別に廃棄を行う。

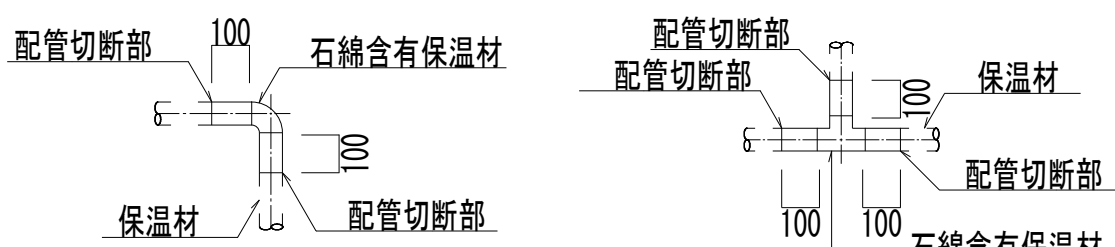
※ 配管、ダクト以外の解体方法は、関連する官公署、石綿作業主任者などに確認し法令に従い適切に処理を行うこと。

ダクトフランジ部撤去参考詳細図



- 1、ダクトの切断に当たり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼りを行う。
- 2、フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
- 3、ダクト片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。
- 4、切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

配管エルボ・チーズ部撤去参考詳細図



- 1、配管の切断に当たり飛散防止処置として、保温材部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
- 2、保温材部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
- 3、切断した保温付配管は、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

○ 配管種別（既設配管）

	配管種別	配 管 材 料
空調和	○ 冷温水、冷却水	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	○ ドレン管	○ 硬質塩化ビニル管（VP） ○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	○ 油	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
	○ 蒸気	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）
	○ 冷媒管	○ 冷媒用被覆銅管
給水	● 屋内給水管	● ビニル管（VP） ○ 塩化ラインニング鋼管 ○ ポリエチレン粉体ラインニング鋼管
	● 屋外給水管	● ビニル管（VP） ○ ポリエチレン管 ○ 塩化ラインニング鋼管（VD）
給湯	○ 給湯管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 銅管
排水	○ 汚水管	○ 排水用鋳鉄管 ○ 塩化ラインニング鋼管 ○ 鉛管 ●ビニル管（VP）
	○ 雑排水管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	○ 通気管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	● 屋外排水管	○ コンクリート 管 ● ビニル管（VP）
ガス	○ 屋内ガス管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	○ 屋外ガス管	○ ガス用ポリエチレン管 ○ 配管用炭素鋼鋼管（白）

- ダクト種別 ○ 亜鉛鉄板 ○ 鋼板製
- 保温種別 ○ ロックウール保温材 ○ グラスウール保温材 ○ ポリスチレンフォーム保温材 ○ 化粧ケース（樹脂製）
- 衛生器具 ○ 陶器製 ○ SUS製

III. 取りこわし内容

（1）共通

- 図示された、機器・ダクト・配管の取りこわしを行う。
- コンクリート埋設部及び土間部の配管は建物と一体に取りこわしてもよい。
- ダクト付属品・配管付属品は、ダクト・配管と一体で取りこわしてよい。

- オイルタンク

○ 浄化槽、排水槽

○ 屋外設備
- オイルタンク本体は、掘り起こし撤去とする。

○ オイルタンクの用途廃止に係る安全管理指針に基づき撤去する。

○ オイルタンク掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。

○ 浄化槽掘り起こしに伴う掘削工法は、法付け工法とする。

○ 浄化槽掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。

○ 配管土工事は本工事とし、掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。

○ 屋外給水配管の埋設深さは600Hとする。

○ 屋外ガス配管の埋設深さは600Hとする。

○ 樹掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。

○ 給水装置

○ 排水設備

○ 都市ガス設備

○ 本管にて閉栓とする。

○ 本管にて閉止とする。

○ 本管にて閉栓とする。

○ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

○ 公設柵にてキャップ止めとする。

○ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

※ ダクトフランジ部の撤去に先立ち、フランジ部1箇所につき2箇所切断する。

旧日向保育所解体工事		A-03
とりこわし 特記仕様書（3）	一級建築士事務所 青森県 登録 A1 第 1140 号 有限会社 夏堀 アシスト 設計 八戸市桜城9丁目4番8号 TEL 71-4671(代) FAX 71-4672 一級建築士 登録第104903号 夏堀 典雄	
設計年月 7年 8月		